TOSHIBA 東芝シーリングファン取扱説明書 保管用

- このたびは東芝シーリングファンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの東芝シーリングファンを正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

お客様へ この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様へ 施工上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。
  取り付けに不備があると落下・感電・火災等の原因となります。
- 振動や衝撃の大きい場所に取り付けないでください。
  落下してけがの原因となります。
- この器具は、天井面の丈夫なところに取り付けてください。
  薄い天井面・弱い天井面等に取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。

取り付け

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。また、異常回転による振動が発生する場合があります。

電源電圧

- 暖房器具、ガス器具等の真上付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  (この器具は、5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)

温度

- この器具は非防水です。屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。感電・火災・絶縁不良の原因となります。

湿度

- 器具を取り付ける際、壁紙・クロス貼りなどの接着剤が十分乾燥してから器具を取り付けてください。
  メッキや塗装などの変色やサビの原因となります。
- 調光器(当社商品名コントルクスなど)との組み合わせでのご使用はできません。器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。また、異常回転による振動の発生する場合があります。

●お客様へ 使用上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

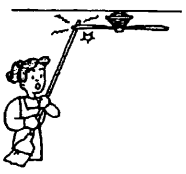
- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。
  器具落下・感電・火災等の原因となります。

改造

- 本体にぶらさがらないでください。
  落下してけがの原因となります。
- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。
  火災等の原因となります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 運転中は羽根に触れないでください。
  けがの原因となります。
- 長時間強い風にあたらないでください。
  健康を害することがあります。



- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。
  感電の原因となります。

電源を切って

- 電球形蛍光ランプを使用した照明器具を取り付けることはできません。
  器具やランプ破損の原因となります。

■お手入れのしかた

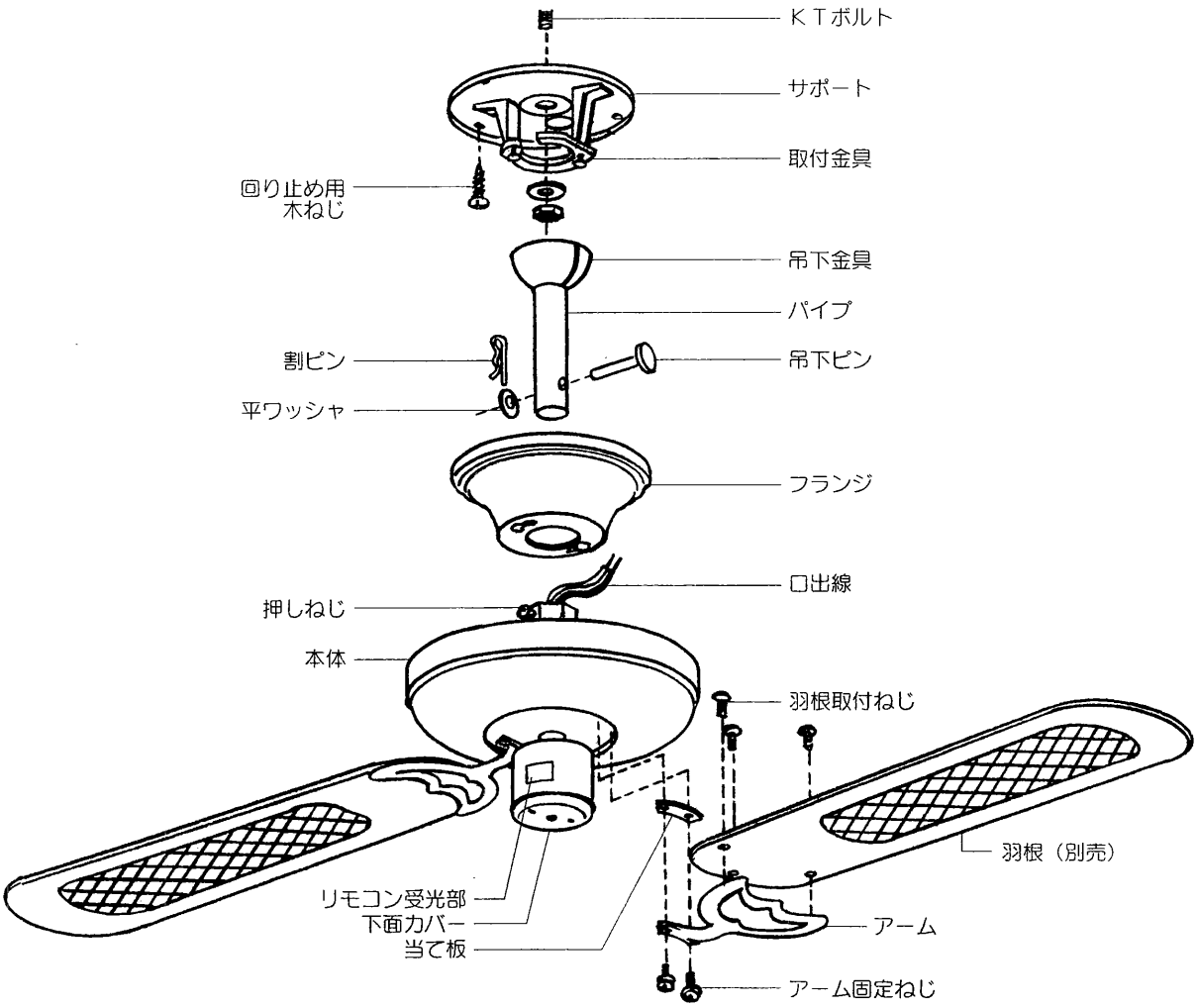
常に明るく使っていただくために6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
器具のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。

■器具はぬるま湯または中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。(メッキ部分は乾いた布でふいてください。)
■この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件・環境により異なりますが約8～10年です。

【ご注意】
■器具をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。
傷つけたり腐食の原因となります。
⚠警 告 ●器具は水洗いしないでください。
故障・感電の原因となります。

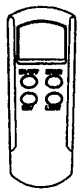
<生産完了 2004年01月01日>
IPH-3000(W) (1/9)

■各部のなまえ



■付属部品

- リモコン送信器
  FRC-126T
  希望小売価格　￥7,200
  紛失・故障などの場合は
  お近くの東芝商品取扱店
  にてお求めください。



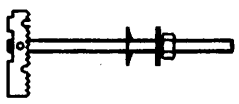
- リモコンホルダー

- ホルダー取付ねじ　２本

- ９Ｖ乾電池　１個
  （リモコン送信器の中に
  入っています）

（白い箱に入っています）

- ＫＴボルト　１式
  （取扱説明書付）



- 回り止め用木ねじ　２本
  （１本使用）

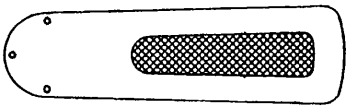
- 羽根取付ねじ　13本
  （12本使用）

- アーム固定ねじ　８本

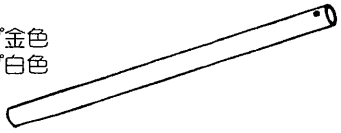
- 当て板　４枚

■別売部品

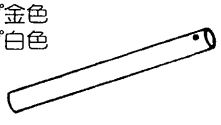
- 羽　根（４枚組）
  IPH-303（T）木調
  IPH-303（W）白色



- 延長パイプ
  IPH-301（X）90cmタイプ金色
  IPH-301（W）90cmタイプ白色



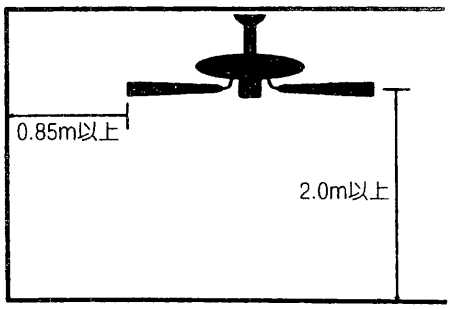
IPH-302（X）60cmタイプ金色
IPH-302（W）60cmタイプ白色



＜生産完了 2004年01月01日＞
IPH-3000(W)(2/9)

■器具を取り付ける前に

●一般天井に取り付ける場合

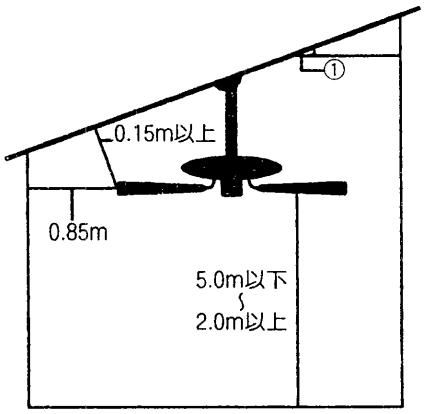


- 壁面から羽根の先端まで0.85m以上離してください。
- 床面から羽根までの高さは２m以上必要です。

注）シーリングファンの回転速度をＨＩ（強）に設定した際、本体がゆれる場合があります。

本体とまわりの壁面や他のシーリングファンとの間がせまいと、空気の流れがみだれて性能が低下したり、本体がゆれたりします。
左図の寸法以上になるよう取り付けてください。

●傾斜天井に取り付ける場合

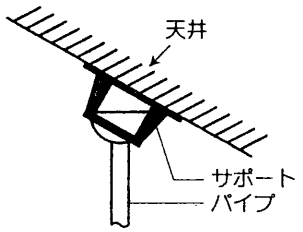


- 壁面から羽根の先端まで0.85m以上離して取り付けてください。
- 床面から羽根までの高さは２m以上、天井高は３〜６m必要です。
- 天井の傾斜角および延長パイプは（表－１）を参考にしてください。

注）傾斜天井に取り付けた際、空気の循環が天井との傾きにより距離が異なるため、本体がゆれる場合があります。

（表－１）

延長パイプを使用しない場合	傾斜角12°まで
60cmタイプ延長パイプ（別売）使用時	傾斜角27°まで
90cmタイプ延長パイプ（別売）使用時	傾斜角36°まで



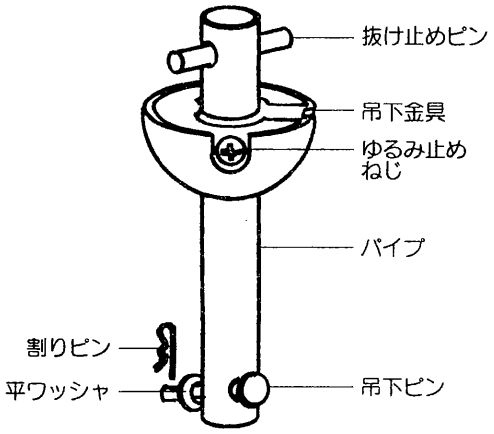
図のように傾斜に合わせて開口部が横に位置するように取付金具付サポートを取り付けてください。

シーリングファンの回転速度をＨＩ（強）にした場合や、傾斜天井への取付状態などにより本体が多少ゆれる場合があります。

■延長パイプ（別売）と組み合わせでご使用する場合

延長パイプには吊下ピン・平ワッシャ・割ピン・吊下金具・抜け防止ピンは付属されていません。
シーリングファン付属のパイプから取りはずしてご使用ください。

1．シーリングファンに付属されているパイプから吊下ピン・平ワッシャ・割ピンを取りはずしてください。
2．シーリングファン付属のパイプから吊下金具を取りはずしてください。
   - ゆるみ止めねじをゆるめ、抜け止めピンをはずして、吊下金具を取りはずしてください。
3．延長パイプに吊下金具を取り付けてください。
   延長パイプに取りはずした抜け止めピンを差し込んでから、吊下金具を抜け止めピンに突き当たるまで奥にはめ込み、ゆるみ止めねじを締め込んで確実に固定してください。



■サーキュレーション効果について

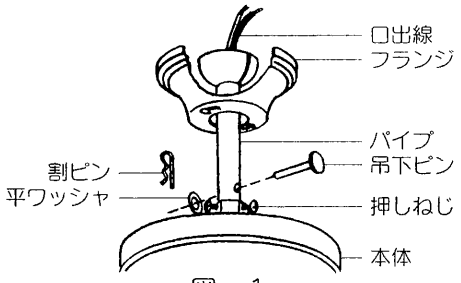
シーリングファンによるサーキュレーション効果で、冷暖房効率がアップし、省エネを実現。夏の冷房時には、下にたまった冷気が循環し、頭上から降り注ぎさわやかな空気循環をつくります。また、冬の暖房時には、天井近くにたまる暖かい空気を循環させ、お部屋の温度のムラをなくします。

＜生産完了 2004年01月01日＞
IPH-3000(W)(3/9)

■器具の組立

●パイプの取り付け（図－１）

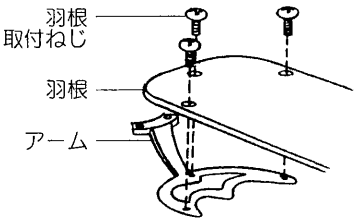
1．パイプにフランジを通してください。
2．パイプに本体の口出線を通してください。
3．本体の押しねじをゆるめてから、パイプを本体中央穴に差し込み吊下ピンを本体とパイプに通して平ワッシャを入れてから割ピンをはめ込んでください。
4．本体の押しねじをしめ込み、パイプを確実に固定してください。



図－１

●羽根の組み付け（図－２）

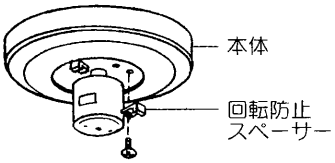
1．羽根（別売）をアームに羽根取付ねじ（３本）で固定してください。



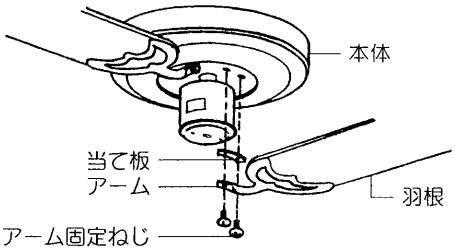
図－２

●アームの取り付け（図－４）

1．本体についている回転防止スペーサー（４個）を取りはずしてください。（図－３）
2．アームに当て板のはく離紙をはがしてから当て板を貼り付けてください。
3．アーム（４セット）をアーム固定ねじ（２本）で確実に本体へ取り付けてください。



図－３

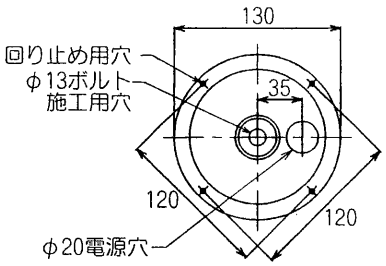


図－４

■器具の取り付けかた

⚠警　告	感電の原因となります。
作業を行うときは、必ず電源（壁スイッチまたはブレーカー）を切ってください。	

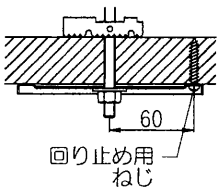
1．サポートを天井に取り付けてください。
- 天井面に付属のＫＴボルトを取り付けます。
（取り付けはＫＴボルトに同梱されている取扱説明書を参照してください。）



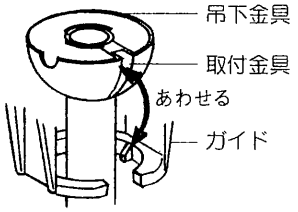
サポート取付方法

⚠警　告	器具落下の原因となります。
取り付けの際は補強材45㎜×45㎜以上が必要です。 45㎜未満、100㎜を超える厚みの天井には取り付けできません。	

- 電源線を通し、サポートをＫＴボルトでしっかりと取り付け、回り止め用ねじ（１本）で回り止めをしてください。（図－５）

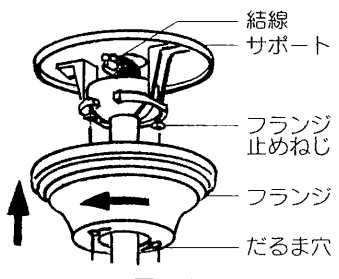


図－５



図－６

2．サポートの取付金具に吊下金具をはめ込んでください。（図－６）
吊下金具のガイドと吊下金具の溝を合わせてください。
3．電源線と口出線を結線してください。（図－７）
口出線は延長パイプ（90㎝）に合わせた長さになっています。
口出線を適当な長さに切断してから接続してください。
4．サポートのフランジ止めねじをゆるめてください。
フランジのだるま穴をサポートのフランジ止めねじに差込み、回転させて仮止めしてください。（図－７）
フランジ止めねじを締め込みフランジを固定してください。
5．電源を入れ、リモコン送信器の操作で動作の確認をしてください。

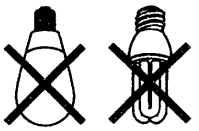


図－７

＜生産完了 2004年01月01日＞
IPH-3000(W)(4／9)

■シャンデリア（別売）と組み合わせでご使用する場合

シャンデリアはシーリングファン（当社形名：IPH−3000(X)(W)）取付対応形のみ取り付けることができます。
その他のシャンデリアは取り付けることができません。

⚠注　意	発煙・発火の恐れあり。
シャンデリア（別売）を取り付けてご使用する場合は、電球形蛍光ランプは取り付けないでください。	 電球形蛍光ランプ

⚠警　告	感電の原因となります。
作業を行うときは、必ず電源（壁スイッチまたはブレーカー）を切ってください。	

1．下面カバー固定ねじ（３本）をはずし、本体から下面カバーをはずしてください。（図−８）

2．プラスチック栓を下面カバー裏側から押してはずしてください。（図−８）

3．本体のシャンデリア用口出線の絶縁端子を引っ張ってはずしてください。（図−８）

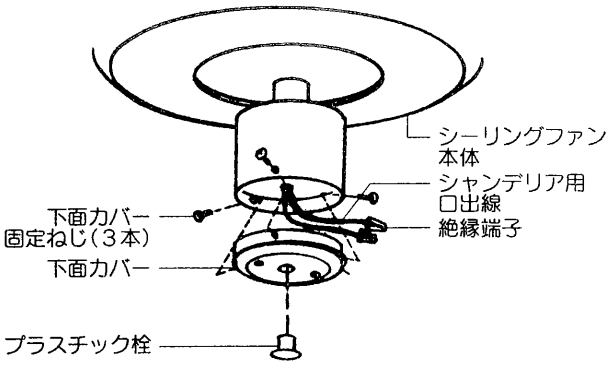
4．下面カバーに本体のシャンデリア用口出線を通してから、下面カバー固定ねじ（３本）で下面カバーを本体に取り付けてください。

5．シャンデリア用口出線にシャンデリア（別売）付属の絶縁付棒状端子を確実に圧着して取り付けてください。（図−９）

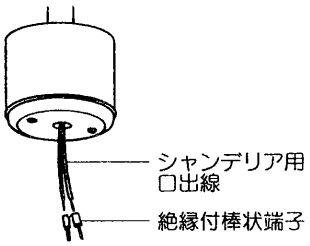
6．シャンデリアサポートを下面カバーに取り付けます。
下面カバーのシャンデリア取付ねじ（２本）をはずしてください。
シャンデリア取付ねじ（２本）でシャンデリアサポートを下面カバーに取り付けてください。（図−10）

7．シャンデリアに添付の取扱説明書を参照し、シャンデリアを取り付けてください。

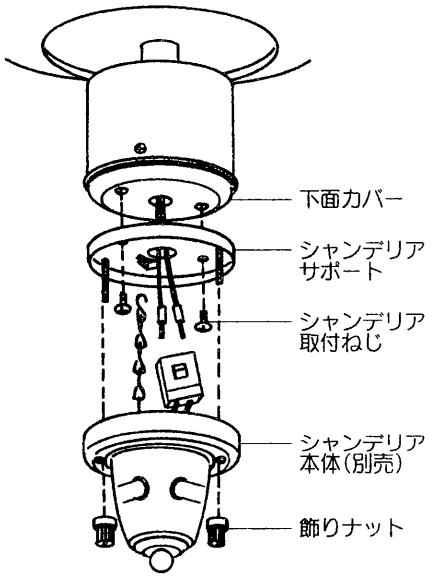
8．電源を入れ、リモコン送信器の操作で動作の確認をしてください。



図−８



図−９



図−10

■仕　様

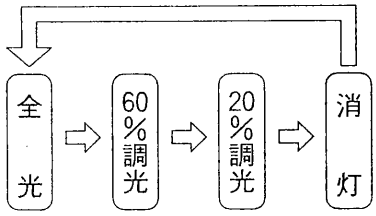
電　圧（V）	周波数（Hz）	回　転　数（rpm）	風量（m/sec）	消費電力（W）	待機電力（W）
100	50	H　I（強）　139	1.27	40.5	0.8
		MED(中)　76	0.67	16.2	
		L　O(弱)　40	0.28	8	
	60	H　I（強）　164	1.47	49.5	0.9
		MED(中)　81	0.83	16.5	
		L　O(弱)　44	0.47	8.5	

電圧、室温等の条件により10％の範囲で誤差が生じる場合があります。

＜生産完了 2004年01月01日＞
IPH−3000(W)(5／9)

■壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法（シャンデリアと組み合わせで使用する場合）

壁スイッチによってシャンデリアの点灯状態を切り替えることができます。



- 壁スイッチをOFFにして約１秒以内に壁スイッチをONにすると、左図⇨の順序でシャンデリアの点灯状態が切りかわります。
- 壁スイッチをOFFにして約1.5秒以上過ぎてから再び壁スイッチをONにすると、全灯の状態になります。

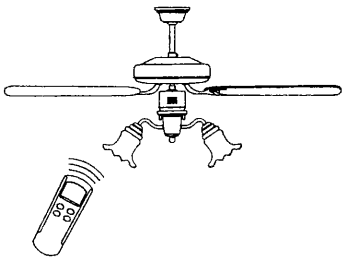
※壁スイッチの操作でシーリングファンの作動状態の切り替えはできません。
必ずリモコン送信器で作動状態の切り替えを行ってください。

- シーリングファンが可動しているときに壁スイッチをOFFにして約５秒以内に壁スイッチをONにすると、シーリングファンは可動したままです。
- シーリングファンが可動しているときに壁スイッチをOFFにして約５秒以上過ぎてから壁スイッチをONにすると、シーリングファンは停止します。
再び可動させるにはリモコン送信器で操作してください。

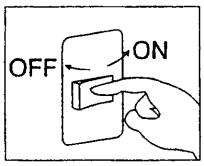
例）シーリングファンをHI、シャンデリアを60%調光で使用していて停電になり、５分後停電が復帰した時はシーリングファンは停止、シャンデリアは全光になります。

シーリングファン HI
シャンデリア 60%調光 ⇨ **停電** ⇨ 5分後 復帰 ⇨ シーリングファン 停止
シャンデリア 全光

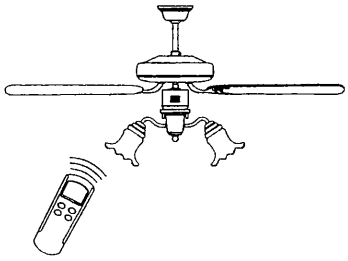
※壁スイッチの操作後にリモコン操作を行いますとリモコン送信器の液晶表示内容が優先されます。
例）リモコン送信器の表示がシャンデリア全光、ファンHIの時に、壁スイッチ切り替えでシャンデリアを20%調光に切り替えて、その後リモコン送信器でシーリングファンをMEDに切り替えるとシャンデリアは液晶表示のとおり全光になります。
リモコン送信器でシーリングファンの切り替えを行うとシャンデリアもリモコン送信器液晶表示の状態に切り替わります。



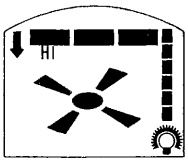
シーリングファン HI
シャンデリア 全光 ⇨



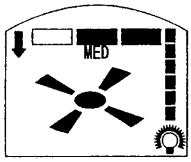
シーリングファン HI
シャンデリア 60%調光 ⇨



シーリングファン MED
シャンデリア 全光



リモコン液晶表示



リモコン液晶表示

- リモコン送信器での調光状態の時に壁スイッチの切り替えを行いますと、それぞれのリモコン液晶表示の状態から下図のような調光切り替えになります。

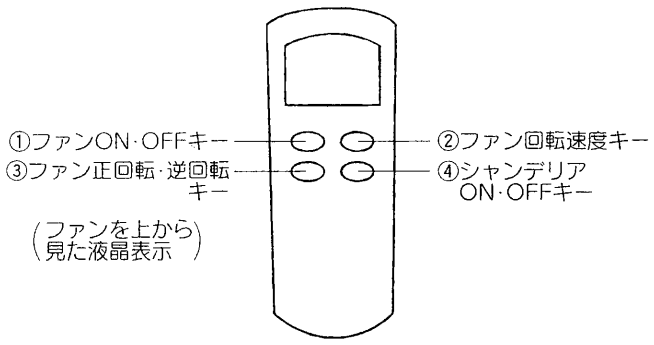
壁スイッチ切り替えをすると…

約100%全光 ■ ⟶ 60%調光になります
約84%調光 ■ ⟶ 60%調光になります
約68%調光 ■ ⟶ 60%調光になります
約52%調光 ■ ⟶ 20%調光になります
約36%調光 ■ ⟶ 20%調光になります
約20%調光 ■ ⟶ OFFになります

＜生産完了 2004年01月01日＞
IPH-3000(W)(6/9)

■リモコン操作方法

●リモコン操作は電源スイッチをONの状態で行ってください。



シーリングファンの電源のON-OFF、風の強さや方向、照明のON-OFFなど、立ったり座ったりすることなく、離れた所からもお手軽に操作できます。

①ファンON・OFFキー

ファンをON・OFFします。一度押すとファンが作動し、もう一度押すと停止します。リモコン操作によりOFFにし、再度リモコンでONにした場合、OFFした状態と同じ設定で動作します。

②ファン回転速度キー

ファンの回転速度を変更します。ボタンを押すと強→中→弱の風量順で切り替わります。液晶モニターにもファンの姿と「HI・MED・LO」の文字が表示され、モニター内のファンも強・中・弱に合わせて回転速度が変化します。

③ファン正回転・逆回転キー

ファンの風向きの変更を行います。ボタンを押すと正回転→逆回転の順で切り替わります。(このスイッチは使用中にのみ有効です。)液晶モニターに風向きが表示されます。

④シャンデリアON・OFFキー

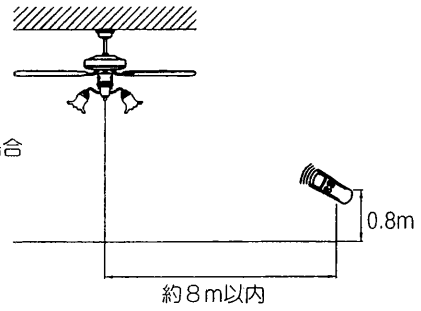
シャンデリアをON・OFFします。一度押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。リモコン操作によりOFFにし、再度リモコンでONにした場合、OFFする前の状態と同じ明るさで点灯します。ボタンを押し続けると連続で調光することができます。ちょうど良い明るさでご使用ください。

- リモコン受信の際、ブザー音が鳴ります。
- リモコン受光部は2箇所です。リモコン受光部の角度によって動作しにくい場合があります。
  その際、リモコン送信器をリモコン受光部に向けて操作してください。
  シーリングファンの真下では検知しにくい場合があります。

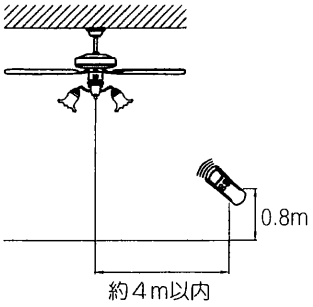
リモコン受信範囲

天井高2.4mの場合

受光部正面方向からのリモコン操作

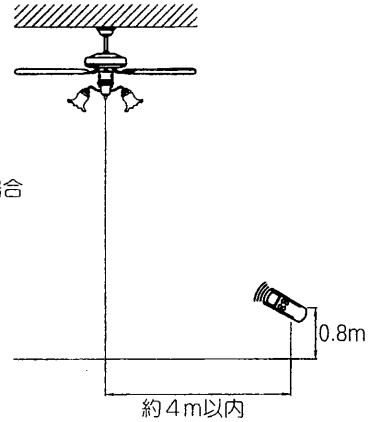


受光部側面方向からのリモコン操作

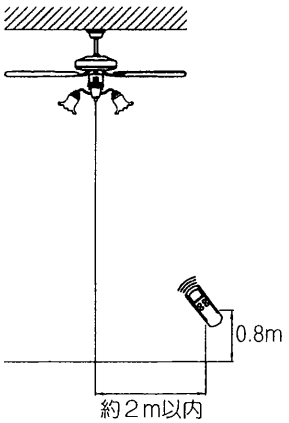


天井高5.1mの場合

受光部正面方向からのリモコン操作



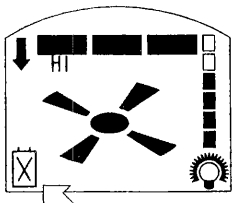
受光部側面方向からのリモコン操作



＜生産完了 2004年01月01日＞
IPH-3000(W)(7/9)

■リモコン操作方法

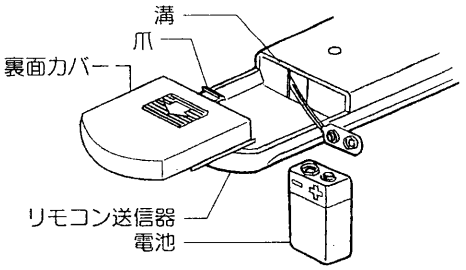
●電池の交換について



液晶画面にこの絵が点灯したら速やかに電池を交換してください。
電池が弱くなると、受信に影響します。

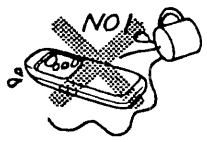
●電池の交換について

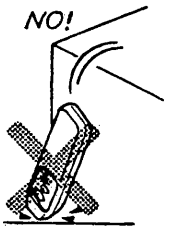
1．裏面カバーをスライドさせてはずしてください。
2．電池を正しく接続してリモコン送信器に入れてください。
3．裏面カバーの爪をリモコン送信器の溝に差込んでから裏面カバーを押し込んでください。



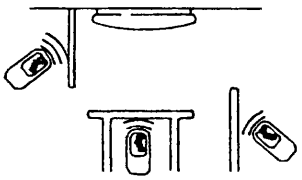
●ご使用上の注意

- 電池交換の際はアルカリ9V乾電池をご使用ください。
- 電池のプラス＋とマイナスーの向きを確認し、正しく接続してください。
- 長時間ご使用にならない場合は電池を取り出しておいてください。液もれ等故障の原因となります。
- リモコン送信器およびシーリングファンが誤差動した場合は一度電源を切ってから電源を入れなおしてください。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。





- 天井・壁・床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- リモコン送信器の周囲に右図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が作動しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。



- リモコン送信器の送信部、器具の受光部は汚れますと作動しにくくなりますので乾いた布で拭いてください。また、電池が消耗してくると作動しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。

■保証とアフターサービス

保証について

・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるもの を添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

・ご転居されたり、贈答品などで販売店（工事店）に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』0120−1048−41（フリーダイヤル）

保証の免責事項

1．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（1） 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（2） お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（3） 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（4） 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
（5） 施工上の不備に起因する故障や不具合
（6） 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（7） 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
・補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
（セード・グローブなどは含まれません。）

・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』 0120−1048−86（フリーダイヤル）
携帯電話・PHSからのご利用は (03)3426−1048（有料）
＊フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

東芝ライテック株式会社　住宅照明事業部　〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9(イトーピア清洲橋通りビル)

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(162953)C
<生産完了 2004年01月01日>
IPH-3000(W)(8/9)

TOSHIBA

シーリングファン・シャンデリア取付用

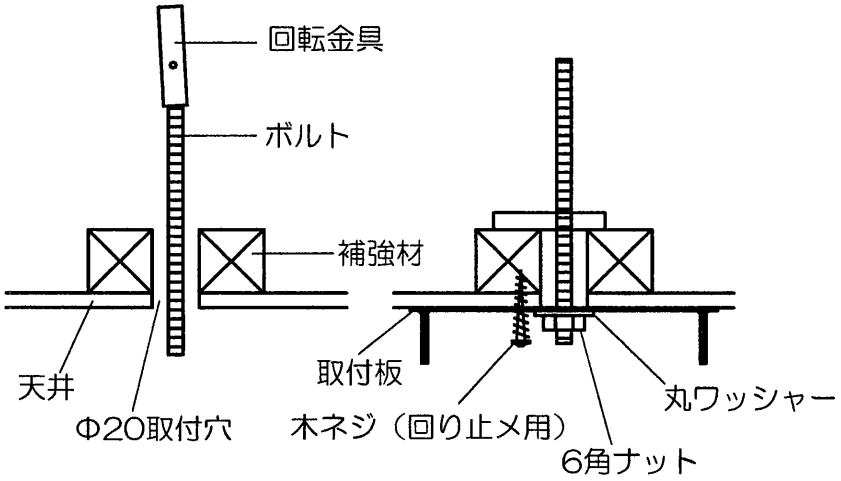
簡易取付ボルト取扱説明書

■ご注意

1．30kg以上の器具には使用しないでください。
2．補強工事のされていない天井には、使用しないでください。

■取付方法

1．天井の強度を確認します。（補強材は45×45以上が必要です。）
　注　30㎜以下、100㎜以上の厚みの天井には取り付けできません。
2．Φ20の取付穴をあけます。
3．ボルトの回転金具を介して天井穴に挿入します。
4．サポートのボルト穴にボルトを通し丸ワッシャー、6角ナットを締め付けて回転金具を固定します。
5．サポートに木ネジ（回り止め用）を取り付けます。



■保証とアフターサービス

保証について

・保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。** 但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、**お買い上げ日を特定できるもの** を添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

・ご転居されたり、贈答品などで販売店（工事店）に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』0120−1048−41（フリーダイヤル）

保証の免責事項

1．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（1）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（2）お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（4）車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
（5）施工上の不備に起因する故障や不具合
（6）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（7）日本国内以外での使用による故障及び損傷
2．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
・補修用性能部品の保有期間
　弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
　補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
　（セード・グローブなどは含まれません。）

・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』 0120−1048−86（フリーダイヤル）
携帯電話・PHSからのご利用は (03)3426−1048（有料）
＊フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

東芝ライテック株式会社　住宅照明事業部　〒110−0016　東京都台東区台東1-38-9(イトーピア清洲橋通りビル)

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(162986)A
<生産完了 2004年01月01日>
IPH-3000(W)(9/9)